

## 北海道理学療法士会誌投稿・執筆規定

### 《投稿規定》

1. 本誌は公益社団法人北海道理学療法士会の機関誌として、理学療法および関連領域における研究発表と実践報告の場を提供することを主な目的とする。
2. 投稿原稿の種類は、研究論文(原著)、症例報告、その他として投稿に際し希望原稿種類を明記する。
3. 投稿は、本会の会員に限る。但し、公益社団法人北海道理学療法士会学術局編集委員会(以下、編集委員会)の決定により、会員外の著者に投稿を依頼することが出来る。
4. 投稿原稿の採否は、査読を経て編集委員会で決定する。なお、投稿原稿は他誌に発表、または投稿中でないものに限る。
5. 投稿論文への責任及び著作権譲渡の確認のため、全著者から投稿承諾書(別紙)に署名を得て提出すること。
6. 本誌に掲載された論文の著作権は、公益社団法人北海道理学療法士会に帰属する。
7. 記事の種類にかかわらず、論文内容に利益相反の可能性のある事項(コンサルタント料、株式所有、寄付金、企業からの援助など)がある場合は、本文中に記載すること。
8. 研究は原則として、所属機関・施設等の倫理委員会の承認を得て実施すること。また、本文の「対象」の項に倫理審査委員会名及び承認番号(または承認年月日)を記載すること。
9. 査読の結果及び編集方針に従って加筆、削除並びに一部書き直しを依頼することがある。また、編集委員会の責任において多少の字句を訂正することがある。
10. 著者校正は原則として1回とし、校正は赤インクで行いPDF等にして返送する。
11. 投稿料は原則として無料とする。

### 《執筆規定》

1. 投稿原稿は、表紙頁、要旨、本文、文献、図表、図表の説明で構成する。
2. 原稿スタイルは、フォントをMS明朝体、標準、10.5ポイントとする。またA4版で40文字×40行とし、ページ番号と行数を記載する。
3. 原稿の規定分量は8,000字以内とし、図表は5枚以内とする。ただし、5枚を越える場合は、図表1枚につき本文400文字を減ずること。
4. 表紙頁、要旨、本文はMicrosoft Word形式、表はMicrosoft Excel形式で作成する。また、図はJPEGファイル形式でも可能だが、表題と説明(キャプション)は編集が可能な形式とする。
5. 表紙頁には希望する原稿の種類、標題(和・英)、著者名(和・英)、職種や学位の表記(PT, MD, MS, PhDなど)、会員番号、所属名(和・英)、筆頭者の連絡先(〒・住所・電話・Email)、キーワード3個(和・英)、文字数に関する情報を記載する。
6. 要旨(和・英)は、和文で400字程度、英文で200語程度とする。
7. 本文中の句読点は、和文では全角「,」「.」、英文では半角「,」「.」を使用する。
8. 本文中の引用文献記載数字は半角上付きとする。例) <sup>1)</sup>
9. 複数の引用文献の記載は以下のようにする。例) <sup>1,2)</sup> <sup>1,3)</sup> <sup>1-3)</sup>
10. 図表は、本文中に組み入れず別ファイルで作成して提出する。図の番号および表題は図の下に、表の場合は上に記載する。また図表のキャプションは、図表の下に記載する。
11. 単位は原則として国際単位系(SI単位 長さ:m, 質量:kg, 時間:sなど)を用いる。
12. 数値の有効数は、原則小数点第1位で統一すること。ただし、データ上必要な場合はその限りではない。
13. 略字を使用する際は、正式名称の後に(以下、)と記載する。例) Center of Mass(以下、COM)
14. 使用機器は、「一般名(会社名、製品名)」、統計ソフトは、「製品名、バージョン番号」を記載する。  
例) 徒手筋力計(酒井医療株式会社, mobie MT-100),  
例) SPSS, ver. 22

15. 引用文献は本文の引用順に並べる。文献の省略は、公の省略法 (Index Medicus) に従う。引用文献の著者が 2 名以上の場合は、筆頭者名のみを記載し、その他は「, 他」または「, et al 」とする。

(引用文献の記載例)

- ① 雑誌の場合: 著者氏名, 論文標題, 雑誌名, 西暦年号, 巻, 頁 (最初-最後) の順に記載する。
  - 1) 工藤夢子, 他 : 牽引式徒手筋力計を使用した等尺性脚伸展筋力測定法の考案, 北海道理学療法. 2017; 34: 4-8.
  - 2) Fragala MS, et al.: Comparison of Handgrip and Leg Extension Strength in Predicting Slow Gait Speed in Older Adults. J Am Geriatr Soc. 2016; 64: 144-150.
- ② 単行本の場合: 著者氏名, 書名, 編集者名または監訳者名, 発行所名, 発行地, 西暦年号, 頁の順に記載する。
  - 3) 野島元雄 : 進行性筋ジストロフィー症, 各種神経筋疾患, 「リハビリテーション医学全書 20」. 上田敏 (編), 医歯薬出版, 東京, 1975, pp. 160-269.
  - 4) Hislop HJ, et al.: Daniels and Worthingham's Muscle Testing; Techniques of Manual Examination and Performance Testing. 9th ed, W.B. Saunders Co, Philadelphia, 2014, pp. 216-221.
  - 5) Neumann DA : 筋骨格系のキネシオロジー (原著第 2 版) . 嶋田智明 (監訳) , 医歯薬出版, 東京, 2013, pp. 455-499.
- ③ 電子文献の場合 : ホームページ名, 入手先 URL, 閲覧日の順に記載する。
  - 6) 日本理学療法士協会ホームページ 理学療法診療ガイドライン第 1 版 (2011) . [http://www.japanpt.or.jp/upload/jspt/obj/files/gideline/14\\_parkinsons\\_disease.pdf](http://www.japanpt.or.jp/upload/jspt/obj/files/gideline/14_parkinsons_disease.pdf) (閲覧日 2020 年 7 月 21 日)

**本誌への投稿先 (下記 E-mail), 編集や出版に関する問い合わせ先**  
北海道理学療法編集委員会事務局  
E-mail : [hrigaku0717@gmail.com](mailto:hrigaku0717@gmail.com)

令和 2 年 10 月 1 日改訂